Forest Good 2019 間伐・間伐材利用コンクール

応募申込書（継続的取組部門）

※受付番号　継続２０

会社名・団体名等　一般財団法人 九電みらい財団　　受賞年度　2017 年度

取組等の名称	「くじゅう九電の森」における環境教育	
活動の種類		間伐材の利用に係る取組（製品生産、資材利用、生活用品など）
		間伐の実践（間伐の実施・普及、集約化取組、間伐技術の開発・工夫、間伐材の販売など）
	○	環境教育活動（地域住民への普及啓発活動含む）
受賞の内容（概略）	水源涵養などの森の公益的機能などのほか、幅広い内容で、毎年千人以上もの多くの人に、森林環境教育を実施している実績があること	
受賞後の展開（受賞から現在まで）	【学校向け環境教育】 ・限られた日程・予算の中で、より多くの学校を受け入れるため、1 回の受入数を最大 90 名まで拡大。これにより、規模の大きな学校の受け入れに加え、２校合同実施による規模の小さな学校の受け入れも可能となり、全体の参加者数も拡大 ・2018 年度からは、次世代層への波及効果を期待し、教員を目指す大学生にも募集対象を拡大。通常のプログラムに加え、教員の視点で小学生向けプログラムの改善提言を行うワークショップを開催。いただいた提言をもとに実験内容や説明方法を見直すなど、教育効果の更なる向上につなげている（2018 年度：西南学院大、2019 年度：福岡教育大） 【親子向け環境教育】 ・これまでは福岡・大分・佐賀に募集エリアを限定していたが、エリア外からの参加希望も増えてきたことから、対象を「九州全域」に拡大 ・地元の観光協会（湯平温泉）との連携による参加者への温泉入浴サービス提供や、湯布院地域の木工職人の方々との協働によるプログラム（カトラリーづくり）など、活動を通じた地域活性化への取組みを積極的に推進 【その他（施設面、地域活性化への貢献）】 ・テントやオーニングなど施設の充実も実施。雨天時でも好天時と遜色ない参加者の受入れと円滑なプログラム運営が可能な体制を確保	
今後の展開（現在から未来へ）	・学校向け環境教育は、幅広い次世代層に教育効果を訴求するため、募集対象に「高校生」を追加予定 ・より多くの学校に環境教育の機会を創出するため、くじゅう以外の新規地点における開催も検討中 ・親子向け環境教育では、参加者の多様なニーズへの対応や受入数の拡大を目的に、開催形式の見直し（共通プログラム形式から複数のブースを回る自由参加形式など）について検討・実施予定 ・旅行会社と連携した 1 泊 2 日の体験型環境教育プログラムなど、新たな施策についても検討中	
取組の実績	【2017 年度】o 学校向け：20 回、970 名　o 親子向け：4 回、310 名 【2018 年度】o 学校向け：18 回、997 名　o 親子向け：4 回、298 名 【2019 年度】o 学校向け：18 回、1,228 名（推実）　o 親子向け：6 回、399 名 （注）2018 年度と 2019 年度の「学校向け」は、荒天により各 2 回中止（計画は各 20 回）	
その他	教育効果を高めるため、プログラムは「講話」と「体験」にて構成し、双方の繋がりを重視している。「講話」では「地球温暖化の現状」や二酸化炭素の吸収といった「森の公益的機能」、身近な「省エネ」の重要性を学習。その後、森の役割を確認する実験や間伐作業等を「体験」してもらい、体験の中でも講話の内容を繰り返し説明することで理解を深めてもらうよう心掛けている。また、活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献するため、環境保全や省エネ等に関する子どもたちの興味・関心を高め、日常生活での実践についても促している。	
取組、製品等の写真、図表等	 間伐材を利用した「森の工作」（親子イベント）	 「林業体験」での間伐作業（福岡教育大学）

連絡先等（公表可能な範囲でご記入下さい）	（住　　所）　〒810-8720　福岡市中央区渡辺通二丁目 1 番 82 号 （担当部署等）　一般財団法人 九電みらい財団 （電話番号等）　TEL:092-982-4627　　FAX:092-982-4676 （U　R　L）　Takashi_Shigeoka@kyuden-mirai.or.jp